



会津若松商工会議所 経営状況調査

下記設問にご回答いただき、令和8年1月23日(金)までに投函または送信してください。

I 貴事業所についてお伺いします。

1. 事業所の形態

☐法人 ☐個人 ☐団体

2. 業種（複数にわたる場合は主たる業種を選択）

☐小売業 ☐卸売業 ☐製造業 ☐建設業 ☐飲食業 ☐ホテル・宿泊業
☐観光関連業（旅客運送を含む） ☐物流・運輸サービス業 ☐不動産業
☐金融・保険業 ☐土業 ☐IT・情報関連サービス ☐その他のサービス業
☐その他（具体的に）

3. 営業年数

☐～5年未満 ☐5年以上～10年未満 ☐10年以上～20年未満
☐20年以上～30年未満 ☐30年以上40年未満 ☐40年以上50年未満
☐50年以上

4. 代表者の年齢

☐～20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80歳以上

5. 代表者の世代

☐初代（創業者） ☐2代目 ☐3代目 ☐4代目 ☐5代目 ☐6代目以上

6. 正社員の人数 ※代表・役員を除く ※個人は家族従業員を含む

☐0人 ☐1人 ☐2人 ☐3人 ☐4人 ☐5～9人 ☐10～19人
☐20～49人 ☐50～99人 ☐100人以上

7. パート・アルバイトの人数

☐0人 ☐1人 ☐2人 ☐3人 ☐4人 ☐5～9人 ☐10～19人
☐20～49人 ☐50～99人 ☐100人以上

8. 直近の売上〔個人：令和6年分 法人：直近決算1期分〕 ※いずれも給付金・支援金等を含む

☐100万円未満 ☐100万円以上～300万円未満 ☐300万円以上500万円未満
☐500万円以上～800万円未満 ☐800万円以上～1,000万円未満
☐1,000万円以上～2,000万円未満 ☐2,000万円以上～5,000万円未満
☐5,000万円以上～1億円未満 ☐1億円以上

II 最近の経営状況等についてお伺いします。

1. 現在の業績について、コロナ禍前（2019年）と比較して、どのように感じますか。

☐大幅に悪化した ☐やや悪化した ☐変わらない
☐やや改善した ☐大幅に改善した ☐コロナ前より上回った

2. 直近の売上〔個人：令和7年分 法人：直近決算1期分〕はコロナ前と比較してどう変化しましたか。

☐大幅減少 ☐やや減少 ☐横ばい ☐やや増加 ☐大幅増加

①上記設問で「大幅減少」「やや減少」と回答された方にお伺いします。コロナ前と比較した減少率はどの程度ですか。

☐1%以上～10%未満 ☐10%以上～20%未満 ☐20%以上～30%未満
☐30%以上～40%未満 ☐40%以上～50%未満 ☐50%以上

3. コロナ禍前と比較した今後の見通しは、どのようにお考えですか。

☐今後も回復する見込みはない ☐一定程度回復しても完全には回復しなさそう
☐回復までには半年以上かかりそう ☐今後半年以内には回復できそう
☐既に回復しており、現状維持が可能 ☐既に回復しており、今後も更に伸長しそう
☐既に上回っており、順調に推移していきそう

内面と裏面の設問にもご回答をお願いします ⇒

Ⅲ 経営改善・発達に向けた取組についてお伺いします。

1. コロナ対策支援制度等の利用の有無についてお伺いします。

① コロナ融資を利用しましたか。(公的・民間金融機関すべて)

☐ 利用した ☐ 利用していない

② 上記設問で「利用した」と回答された方にお伺いします。利用したコロナ融資の現在の状況を教えてください。

☐ 返済を開始し、順調に返済している ☐ 返済を開始したが、返済負担が経営を圧迫している
☐ 据置期間中である ☐ 据置期間を延長した(同額借換) ※条件変更を除く
☐ 条件変更(リスク)を行った ☐ 追加融資を受けた → ☐ 当初借入とは別枠
☐ 当初借入と併せ増額借換

③ 上記設問で「追加融資を受けた」と回答された方にお伺いします。追加融資の資金使途を教えてください。

【運転資金】 ☐ 業績の回復や拡大・伸長に伴うもの(受注・売上増に伴う仕入や外注費、販路拡大や新規雇用に係る費用など)
☐ 通常の事業活動に係るもの(仕入や外注費、未払金などの決済のため)
☐ 業績悪化に伴うもの(受注・売上減による資金不足への対応)
☐ 既往借入のまとめ資金

【設備資金】 ☐ 業績拡大・伸長に伴うもの(機械設備等の購入、工場・店舗等の新設・増設など)
☐ 通常の事業活動に係るもの(既存の車両や機械等の買替・修繕・維持費用など)

2. 販路拡大等に向け各種補助金等を利用しましたか。申請した補助金すべてにチェックしてください。【複数回答可】

☐ 小規模事業者持続化補助金 ☐ ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業費補助金
☐ 事業再構築補助金 ☐ IT導入補助金 ☐ ものづくり補助金
☐ 会津若松市チャレンジ企業応援補助金 ☐ 会津若松市まちなか出店応援補助金
☐ 商工会議所中小企業活力アップ補助金(マル活補助金) ☐ その他()
☐ 申請していない

3. 業績の回復や伸長に向けた対策として取り組んだことについて、該当するものすべてにチェックしてください。【複数回答可】

☐ プロモーションやマーケティング活動の強化
☐ オンライン販路の強化(ECサイト、SNS活用など)
☐ 新規市場や新規顧客層の開拓 ☐ 顧客サポートの強化
☐ 新商品の開発または既存商品の改良 ☐ 販売価格の見直し(値上げ)
☐ デジタル化・IT導入 ☐ 業務効率化 ☐ コスト削減
☐ 従業員教育・研修の強化・福利厚生の充実 ☐ 特に取り組んでいない

Ⅳ 事業承継についてお伺いします。

1. 事業承継について、この先10年の事業計画のお考えを教えてください。

☐ 事業を拡大したい ☐ 事業を継続したい ☐ 廃業を検討 ☐ まだ決めていない
☐ その他()

2. 承継先(後継者)候補は決まっていますか。

☐ 子どもなど親族 ☐ 社内役員・従業員 ☐ 社外・第三者
☐ まだ決まっていない ☐ 候補者がいない

3. 上記設問1. で「廃業を検討」と回答した方にお伺いします。理由を教えてください。

☐ 事業に将来性がない ☐ 後継者がいない ☐ 後継者候補に継ぐ意思がない
☐ 技術・ノウハウの承継が困難 ☐ その他()

V 原材料高・物価高への対応についてお伺いします。

1. 価格転嫁（値上げ）はしましたか。

☐値上げした ☐値上げを検討中 ☐値上げしていない

①上記設問で「値上げした」と回答した方にお伺いします。仕入れまたは経費増加で値上げが必要な金額のうち、どの程度の価格転嫁ができましたか。

☐20%未満 ☐20%以上～50%未満 ☐50%以上～80%未満
☐80%以上～100%未満 ☐100%（すべて転嫁できた）

②上記設問で「値上げしていない」と回答した方にお伺いします。値上げしていない理由について、該当するものすべてにチェックしてください。【複数回答可】

☐値上げの必要がない ☐値上げによる客離れで売上減少の恐れがあるため
☐取引先の理解が得られないため ☐同業他社が値上げしていないため
☐内容量を減らすなどの実質的値上げをしているため ☐その他（ ）

2. 原材料高・物価高に対して価格転嫁以外に取り組んでいることについて、該当するものすべてにチェックしてください。【複数回答可】

☐仕入れ先・調達方法の変更 ☐代替品への変更 ☐経費削減 ☐業務効率化
☐新たな市場の開拓 ☐何をしたいのかわからない ☐特になし
☐その他（ ）

VI 消費税インボイス制度への対応についてお伺いします。

1. 消費税課税やインボイスの登録状況について、インボイス制度開始前（R5.9.30 まで）と現在の状況を教えてください。

- ①インボイス開始前（R5.9.30 まで） ☐課税事業者 ☐免税事業者
②インボイスの登録状況 ☐登録した ☐登録していない
③現在（R7.12.31） ☐課税事業者 ☐免税事業者

2. インボイス制度への現在の対応状況について、最も近いものをお選びください。

☐特に支障なく運用できている ☐一部負担はあるが、概ね対応できている
☐事務負担・コスト負担が継続的に重い ☐取引先対応などで今も調整が必要な状況がある
☐その他（ ）

3. インボイス制度導入後、経営や取引面で影響があったものについて、該当するものすべてにチェックしてください。【複数回答可】

☐事務作業（経理・請求業務）が増えた ☐システム導入・改修などのコストが発生した
☐免税事業者との取引に影響があった ☐取引条件（価格・取引継続等）見直しがあった
☐特に大きな影響はない ☐その他（ ）

4. インボイス制度に関して 今後不安に感じることにについて、該当するものすべてにチェックしてください。【複数回答可】

☐制度や取扱いの変更対応 ☐税務処理・経理実務への不安 ☐消費税の納税負担
☐取引先からの追加要請対応 ☐免税事業者との取引に関する対応 ☐特に不安はない
☐その他（ ）

VII 人手不足の状況や対応についてお伺いします。

1. 現時点における人員充足状況について、該当するもの1つにチェックしてください。

☐不足している ➡ 人手不足への対応のために実施・検討している取組について、該当するものすべてにチェックしてください。【複数回答可】
☐適正である
☐過剰である
☐従業員はいない

☐採用活動の強化（非正規社員を含む） ☐労働時間・残業時間の増加
☐従業員の能力開発 ☐外注の活用 ☐デジタル化の推進
☐過剰品質、過剰サービスの見直し ☐外国人材の活用
☐設備投資（機械・ロボット等の導入） ☐専門スキルを持つ人材の活用
☐多様で柔軟な働き方の導入（テレワーク、副業・兼業人材の活用など）
☐その他（ ）

